



環境研究総合推進費

Environment Research and Technology Development Fund

令和9年度

新規課題を 公募します

公募期間 2026年

9.7月 10:00 から
10.9金 10:00 まで

若手研究者の研究区分を設置

- ・研究期間3年以内
- ・予算規模 各年600万円以内
又は300万円以内

人文・社会科学分野から
自然科学分野まで、
多様な分野の研究を募集

実証・実用化を
目指している
研究・技術開発も支援対象

環境政策への貢献・反映を 目的とした競争的研究費です

公募説明会

オンラインで公募説明会を実施します。事前登録制となりますので、ERCAホームページよりお申し込みください。

第1回

日時：2026年8月5日(水) 14:00～15:50(予定)

内容：推進費の制度や公募概要、プログラムオフィサー(PO)による研究マネジメントのアドバイス、研究代表者による経験談など

第2回

日時：2026年9月11日(金) 10:30～18:00(予定)

内容：公募内容や申請書作成のポイント、環境省担当者による行政要請研究テーマの説明など

詳細はこちら▶

https://www.erca.go.jp/suishinhi/koubo/r09_koubo_3.html



オンライン個別相談会(通年開催)

研究課題の進捗管理・助言・指導を行っているPOがご相談に応じます。応募を予定・検討している方、研究推進部門の方など、ぜひご利用ください。

開催日時

(基本) 平日(月～金/祝日を除く) 10:30～16:30

相談方式、時間

オンライン開催、1組あたり30分
(1年度につき、1組1回限り)

<https://www.erca.go.jp/suishinhi/koubo/online.html>

詳細はこちら▶



メルマガ

新規課題公募や推進費課題の情報など、いち早くお届けしています。POによる経験談や申請の助言を不定期配信中。

詳細はこちら▶

https://www.erca.go.jp/suishinhi/m_magazine/index.html



独立行政法人環境再生保全機構 環境研究総合推進部

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー 9階 TEL: 044-520-9509 FAX: 044-520-9660
E-mail: erca-suishinhi@erca.go.jp URL: <https://www.erca.go.jp/suishinhi/> X(旧Twitter): https://x.com/ERCA_suishinhi



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA:環境保護印刷推進協議会
<http://www.e3pa.com>

この印刷物は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。

公募区分		研究開発費の支援規模 ^(※1)	研究期間	委託費・補助金の別
環境問題対応型研究	環境問題対応型研究(一般課題)	4,000万円以内／年	3年以内	委託費
	環境問題対応型研究(技術実証型) ^(※2)	4,000万円以内／年		
	環境問題対応型研究(ミディアムファンディング枠)	2,000万円以内／年		
次世代事業 ^(※3) (補助率1/2)	ア.「技術開発実証・実用化事業」	1億円以内／年	3年以内	補助金
	イ.「次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業」	2億円以内／年		
革新型研究開発(若手枠)	革新型研究開発(若手枠A)	600万円以内／年	3年以内	委託費
	革新型研究開発(若手枠B)	300万円以内／年		
戦略的研究開発 ^(※4)	戦略的研究開発(Ⅰ)	3億円以内／年	5年以内	委託費
	戦略的研究開発(Ⅱ)	1億円以内／年	3年以内	

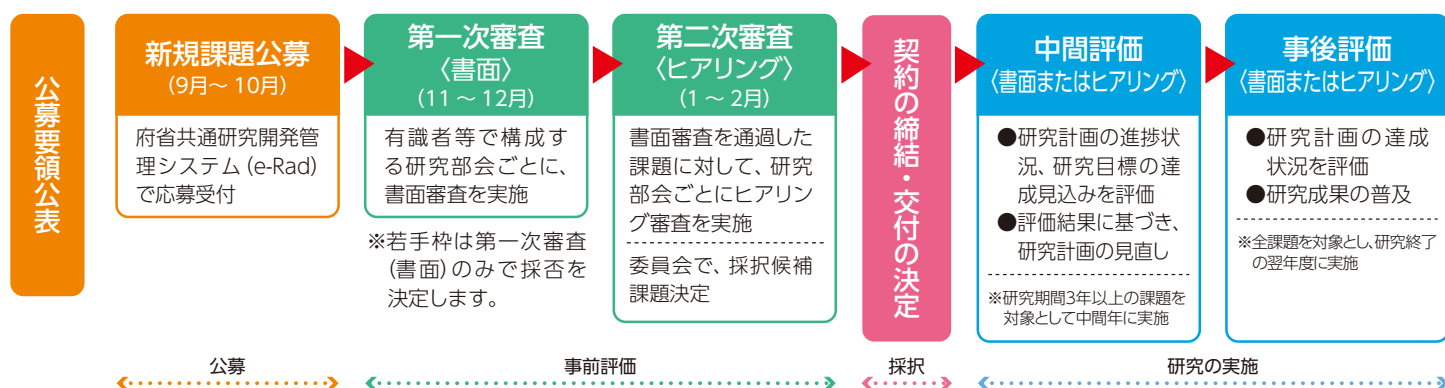
※1 間接経費(30%)、消費税を含む1年間の上限額。

※2 環境問題対応型研究(技術実証型)は、技術開発成果の社会実装を進めるため、当該技術の実用可能性の検証を行う課題。

※3 「技術開発実証・実用化事業」は、環境問題対応型研究等で得られた技術開発等であって、全ての研究対象領域において、実証・実用化を図ることを目指した事業、「次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業」は、資源循環領域において、廃棄物の安全かつ適正な処理、循環型社会の形成推進に関するもので、実現可能性、汎用性及び経済効率性が見込まれる技術を開発する事業。

※4 「戦略的研究開発」は、公募に原して、あらかじめ環境省が研究プロジェクトを構成する研究テーマを提示し、各テーマを構成する研究課題(サブテーマ)を公募します。

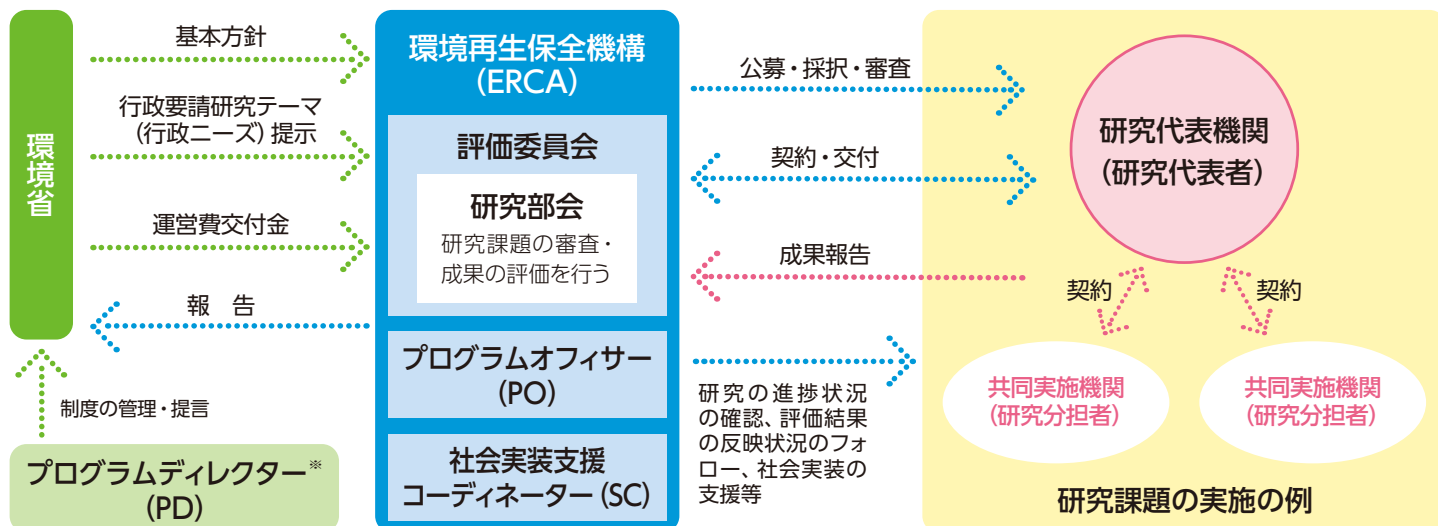
スケジュール



研究の実施体制について

ERCAは、推進費の配分機関として、研究費の配分・契約や、外部有識者等による委員会の設置、新規課題の公募及び審査、中間・事後評価等の業務を行っています。推進費の基本方針の検討・策定、行政要請研究テーマ(行政ニーズ)の策定・提示、環境政策への活用及び推進費制度全体の管理・評価については、環境省で実施しています。

研究期間中は、基本的に各課題に1名のプログラムオフィサー(PO)を配置し、研究の進捗状況の確認や中間評価結果のフォローアップを実施します。また、社会実装支援コーディネーター(SC)が研究成果の社会実装を支援します。



※環境省では、豊富な研究経歴のあるプログラムディレクターを配置し、制度の適切な運用を行います。